

ストレスチェック制度がスタート

職場のメンタルヘルスを考える

きく影響しているのです。

対応（3次予防）ではなく
未然防止（1次予防）です。

労働者のメンタルヘルス不調の1次予防を目的

◆メンタルヘルスの現状は

◆メンタルヘルスの現状は「精神障害の労災件数」が増加しています。平成26年度の請求件数1456件、決定件数497件はともに過去最多です。

職種別では、専門的・技術

的職業、事務、サービス業の順に多く、ストレスの溜りやすい仕事内容が想像されます。年齢別では、働き盛りの40歳代が一番多く、30歳代、20歳代とつづきます。労働の質と量が労働者のストレスに大

◆チエックは1次予防が目的
1月1日から施行された
トレスピエック制度。その
目的の第1は不調者の早期発見
(2次予防)、不調者への事

労働者50人未満の事業場は実施義務はなく、努力義務とされています。

用したいものです。 らには、職場環境の改善に活
るリスクもまた大きいのです。 クストをかけて実施するか
るンタルヘルス不調から発生す

神の障害年金は、2件とも職場の「いじめ」が発病につながったもので、労災の請求をすれば、業務上が認定されたかもしれませんなかつたケースです労災請求を減らすためには

さらに、労働者自身のストレスへの気付きを促すこと、職場環境の改善につなげる、とも目的となります。



ストレスチェックのステップ

- ①労働者が質問票に記入して実施。その結果を評価
 - ②チェック実施者が受験労働者に個別結果を通知
 - ③医師の面接指導の必要な労働者の申出による、面接指導の実施。医師の意見を勘案した措置の実施
 - ④ストレスチェックの結果を用いた職場環境の評価
 - ⑤チェック実施者による事業者への評価結果の報告
 - ⑥報告を勘案した職場環境の改善

かわちの社労士事務所

(今年も重大ニュースではありません)

発表!! 2015年の10大ニュース

1. 小規模保育施設選定に合格
2. 障害年金請求にとりくむ
3. 介護職員処遇改善加算を探究
4. 特定社会保険労務士に合格
5. ホームページから問合せ増える
6. 3年越しのお客様から依頼
7. 労働保険事務組合の加入すすむ
8. 電子申請へ、一步を踏み出す
9. 自主研究会の代表幹事に就任
10. 胃の調子改善で体重オーバー

- … 応援してきた複数の認可外保育所が認可園になりました
- … 障害年金請求代行にとりくみ、精神・身体の3件を申請
- … 新設された加算Iのキャリアパス要件の整備が課題です
- … 紛争解決代理業務に社会保険労務士としてとりくみます
- … 選ばれている理由は「近い」「料金が手頃」が大半です
- … 開業以来訪問を続けてきた社長さんが、ついにお客様に
- … 建設業はじめ、製造業・サービス業の加入もありました
- … 電子申請に対応できる事務処理の範囲を広げていきます
- … 大阪社労士会の安全衛生自主研究会の「雑用主任」です
- … 胃カメラで分かったピロリ菌治療が成功したのですが…

だから映画はおもしろい

vol.15

原節子さん追悼

小津安二郎監督・「紀子3部作」

(1949・51・53年)

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

この作品については、本連載の第1回『東京家族』の中でも合わせて紹介しています。

●3部作を通して、原節子の輝くような美しさは、その内面からもにじみ出ていると感じさせます。その美しさを

やはり何度も見飽きないのが、「紀子3部作」です。

●『晩春』(49年)は父子家庭の娘・紀子が父を気遣つて結婚をためらいます。父娘の京

●今年4～6月に「銀幕デビューから80年 女優 原節子のすべて」特集上映があり、

小津監督作品6本を含む12本を鑑賞したばかりでした。

やはり何度も見飽きないのが、「紀子3部作」です。

●『晩春』(49年)は父子家庭の娘・紀子が父を気遣つて結婚をためらいます。父娘の京

を愛し、学んでいるのです。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

この作品については、本連載の第1回『東京家族』の中でも合わせて紹介しています。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選

ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

●原節子さんの訃報に接し、急遽予定稿を差し替えました。

都旅行の夜、父(3部作とも笠智衆)に説得されて、よう

「昭和の大女優」といつても、昭和37年に引退された原節子さんとはスクリーンの中では会えませんでした。

●今年4～6月に「銀幕デビューから80年 女優 原節子のすべて」特集上映があり、

小津監督作品6本を含む12本を鑑賞したばかりでした。

やはり何度も見飽きないのが、「紀子3部作」です。

●『晩春』(49年)は父子家庭の娘・紀子が父を気遣つて結婚をためらいます。父娘の京

を愛し、学んでいるのです。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

この作品については、本連載の第1回『東京家族』の中でも合わせて紹介しています。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選

ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

●原節子さんの訃報に接し、急遽予定稿を差し替えました。

都旅行の夜、父(3部作とも笠智衆)に説得されて、よう

「昭和の大女優」といつても、昭和37年に引退された原節子さんとはスクリーンの中では会えませんでした。

●今年4～6月に「銀幕デビューから80年 女優 原節子のすべて」特集上映があり、

小津監督作品6本を含む12本を鑑賞したばかりでした。

やはり何度も見飽きないのが、「紀子3部作」です。

●『晩春』(49年)は父子家庭の娘・紀子が父を気遣つて結婚をためらいます。父娘の京

を愛し、学んでいるのです。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

この作品については、本連載の第1回『東京家族』の中でも合わせて紹介しています。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選

ばれた、小津監督、原節子の二人にとつても最高傑作です。

●原節子さんの訃報に接し、急遽予定稿を差し替えました。

都旅行の夜、父(3部作とも笠智衆)に説得されて、よう

「昭和の大女優」といつても、昭和37年に引退された原節子さんとはスクリーンの中では会えませんでした。

●今年4～6月に「銀幕デビューから80年 女優 原節子のすべて」特集上映があり、

小津監督作品6本を含む12本を鑑賞したばかりでした。

やはり何度も見飽きないのが、「紀子3部作」です。

●『晩春』(49年)は父子家庭の娘・紀子が父を気遣つて結婚をためらいます。父娘の京

編集後記